

Ⅲ 社内外の 評価及びご意見

- 九州電力環境顧問会 51
- レポートの読者アンケート 52
- 社員の環境意識 53
- お母さま方の環境意識 53
- 社外評価 54



長崎県 九十九島

西海国立公園に含まれ、佐世保港の外側から平戸まで25kmにわたり島々が点在しています。「九十九」とは、たくさんの数の例えで、実際の島の数は208あり、島の密度は日本一といわれています。

九州電力環境顧問会

2010年5月20日に「第10回 九州電力環境顧問会」を開催し、九州電力グループの環境への取組みや「2010九州電力環境アクションレポート」について、様々なご意見をいただきました。

環境顧問会での主なご意見とその反映状況についてご紹介します。

九州電力環境顧問会委員 (50音順 敬称略)



あかぎ えい
赤木 衛
著述業



あかとう えいじ
赤塔 栄治
読売新聞 西部本社
編集局経済部長



あさの なおひと
浅野 直人
福岡大学 法学部教授
中央環境審議会委員



いしくほ なほみ
石窪 奈穂美
消費生活アドバイザー



おおつか まさお
大塚 政雄
環境省 環境カウンセラー
(市民部門)



つつい やすひこ
筒井 泰彦
エッセイスト



つるた かつとし
鶴田 暁
九州地域環境・リサイクル産業
交流プラザ 副会長



なかむら ひでたか
中村 英隆
おんが
遠賀信用金庫
理事長



にしだ しんいち
西田 進一
西田鉄工株式会社
代表取締役社長



ふじもとの ぼる
藤本 登
長崎大学教育学部
准教授



会議風景

1 環境への取組みについて

ご意見の概要	ご意見の反映状況
木質バイオマス混焼実証試験 ● 峇北発電所での木質バイオマス混焼実証試験は、循環型社会形成や生物多様性に寄与するほか、森林管理を促し地域活性化にも貢献することから、今後の成果に期待している。	● 木質バイオマスの混焼は、当社では峇北発電所での実施が初めてであるため、今後、木質チップの調達状況や、ボイラーでの混焼状況等を十分に検証していきます。
運輸面でのCO₂削減 ● 一般車両の燃費が目標未達となっているが、社内研修等によりエコドライブを徹底させるなど、更なる工夫の余地があるのではないかと。	● 研修や社内イントラネットを活用したエコドライブの徹底・周知や、社用車の低燃費車への計画的切替えを今後も着実に実施し、燃料消費率の向上に取り組んでいきます。
国際貢献 ● グローバルな環境問題解決のためには、国際貢献への取組みが重要。地理的に近いアジアを中心に、九州電力の技術を活用した環境貢献を期待している。	● クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップ (APP) を通じた当社の火力発電に関する技術・ノウハウの提供など、今後とも、海外での非化石化へのアプローチを積極的に進めていきます。
原子力関連情報 (プルサーマル) ● 玄海原子力プルサーマルが開始されたが、地震やMOX燃料の輸送ルートなど、一般の方たちは安全性について特に心配しているため、これらについては、引き続き、可能な限りの親切・丁寧な説明を心掛けてほしい。	● プルサーマル開始に伴う燃料の健全性の監視強化状況や耐震安全性評価結果について、ホームページや環境アクションレポート等を通じて、今後とも、適切かつ親切・丁寧な説明に努めていきます。
社会との協調 ● 「九州ふるさとの森づくり」終了後も、植樹活動は継続してほしい。	● 50周年事業としての「九州ふるさとの森づくり」は、10年間での活動を評価・総括する観点から、2010年度で一旦区切りをつけることとし、植樹活動自体については、地域共生活動の一環として継続していく方向で今後検討を進めていきます。